

インキュベーション施設入居企業 様

インキュベーション施設の活用をありがとうございます。

現在、ご契約いただいております、学術コンサルティング契約のサービスとして

入居者に対するバックオフィス支援や情報提供等、充実を図れるように活動しているところ
ろです。

今回は、丸紅中部支社の9階のコワーキングスペースとイベントに無料で使用、
参加できるようになりました。

(添付資料 pdf ご参照)

丸紅中部支社(丸の内駅徒歩1分)はAgora施設を2023年9月に開設し、
会員向けに中部支社9階に無料のコワーキングスペース

(平日10時~17:30)と、イベントスペースを貸し出しています。

コワーキングスペースとイベントに無料で参加できるようになりました。

5大商社(住友物産、三菱商事等)にピッチする機会もあるとのこと。

Agora施設ご利用希望者(1企業複数人でも可)様は、企業名、役職 氏名を

4月中を目途にnu-venture@aip.nagoya-u.ac.jpまで送信していただきますよう、

よろしく願いいたします。

ご返信いただきましたら、ご登録の仕方をご連絡いたします。

(ご登録していただかないとご利用はできません)

以上何卒、よろしくお願い申し上げます。

Agora 紹介資料 2024年3月



**Marubeni
Innovation Lab
Agora**

人が集まる、人がつながる、
新たな価値が創造され、イノベーションが生まれる場

Agoraとは古代ギリシャの都市国家の公共広場のことで、
人が集まり、闊達に議論を交わす場でした。


Marubeni Innovation Lab Agoraも多様な人が集まり、
偶然の出会いの中から、異質なものを掛け合わせることで、
新たな価値が創造され、
イノベーションが生まれる場となることを目指しています。

00 Agora 施設概要 (2023年9月開設)



àgora
Marubeni Innovation Lab


丸の内駅6番出口から徒歩1分
名古屋丸紅ビル9F
無料のコワーキング+イベントスペース
会員の対象：
・丸紅中部支社員が招待した方
・お勤めの方
・イノベーションに興味のある方
会員は顔認証のみで入退室可



コワーキングスペース：平日10:00～17:30
丸紅中部支社員が常駐し、ネットワーキングを行う
会員へのハードセールスは禁止



イベントスペース：着席時最大50名のイベントを開催可



設備：
無料Wifi、ディスプレイ10台
DTEN 75インチ 1台、55インチ 2台
電話会議ボックス、1on1会議室、
コーヒーマシン、電子レンジ、等

01 Agora 立ち上げに至る課題意識

丸紅中部支社、グループ会社、地域企業、スタートアップ夫々の課題を整理の上、10階を丸紅グループのシェアオフィスに、9階を登録制コワーキングスペースとして、Marubeni Innovation Lab Agoraを開設。
Agoraを起点とした中部地域発のオープンイノベーション創出に繋げる。

イノベーションを進めたい

地域企業

- 100年に一度と言われる自動車産業の変革を背景として産業構造の転換は必須。
- 同時並行して脱炭素、CNに取り組む必要。
- 少子高齢化対策としてD&I、DXが喫緊の課題。

リソースが足りない

スタートアップ

- 中部地域のスタートアップは質・量共に東京に劣後。
- 一方、地域課題を深掘り出来る立ち位置に。
- 自力でスケールさせることに限界。
- グローバル企業との協業が必要か。

課題解決のためには、掛け合わせをする場が必要



丸紅中部支社

- 縦化の深化により支社の機能が相対的に低下。
- 支社の将来像・存在意義の再定義。
- 支社員の士気高揚。
- 名古屋丸紅ビルの更なる活用。

丸紅グループ会社

- 既存・新規取引先との関係維持・情報収集。
- 優良地域企業へのトップセールス。
- 事業会社の拠点は小規模で営業体制に課題。
- 小規模事業会社は会議室など施設的な制約。

新規事業を創出したい

02 Marubeni Innovation Lab Agora とは？

【開設の狙い】

- 丸紅グループの中部地域発の新規ビジネス開発
 - ・ 丸紅グループが関与できるかどうかには拘らない
 - ・ 中部地域における課題の明確化
 - ・ 実務者レベルでの異業種の掛け合わせ

【Agoraの特徴】

- 中部圏では数少ない、企業主導のイノベーション施設
- コワーキングスペースとイベントスペースを併設し、集まりやすい「場」を提供
- 定期的な交流イベント・セミナー・プログラムを開催

新しい技術・サービスの出し手

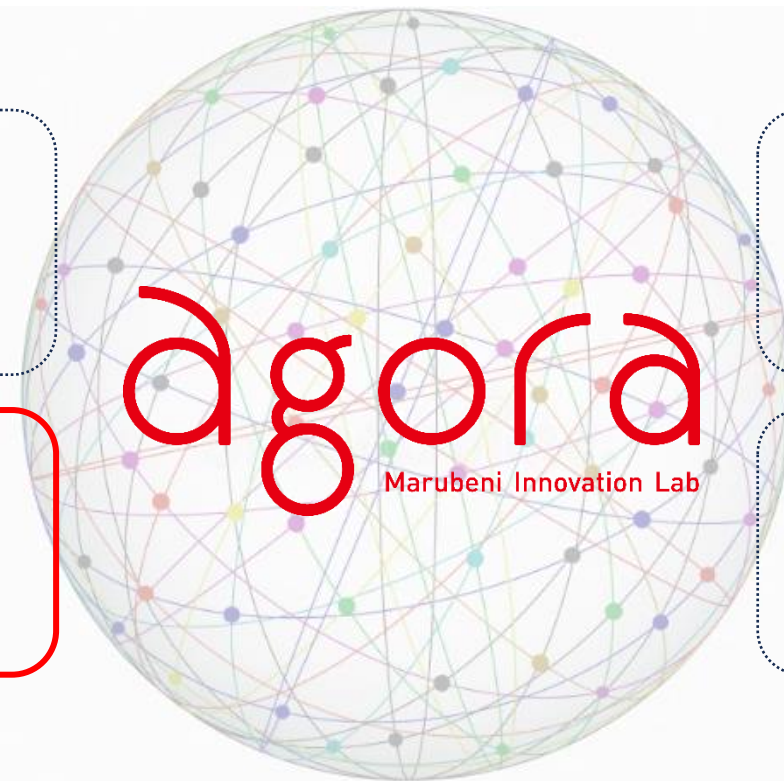
教育機関

研究機関

スタートアップ

大企業・中堅企業

丸紅グループの
国内外ネットワークと知見



協業パートナー・資金の担い手

金融機関

ファンド

大企業・中堅企業

CVC

イノベーション支援団体

自治体

経済団体

イノベーション拠点

アクセラレータ

03 Agora の目的達成への道筋

Agoraの目的：丸紅グループの中部地域発の新規ビジネス創出

Stage 1 人を集めて繋げる

2023年9月～ 目的：企業の担当者が集まり、意見を交換して関係を構築する。アクティブなAgora会員を増やす。
施策：外部イベント(主催：Station Ai, 500Global 他) 、Agora Bar、事業会社交流会

Stage 2 インサイトを共有・深掘し課題を明確化する

2024年1月～ 目的：Agora会員間の関係を深めて互いのインサイトを共有・深掘して課題を明確化する。
施策：オープンイノベーションプログラム (CLUE、デロイト、Station Ai 他との共催)

Stage 3 新規事業を創出する

2024年度内～ 目的：明確化した課題にAgora会員企業を掛け合わせ、新規事業を創出する。
施策：新規取引の開始、新会社の設立、出資、資本業務提携など

04 Agora で実施したイベント・プログラム

共創パートナーとなり得る企業の新規ビジネス担当者、Agora運営のための提携先、関係自治体、産学連携関係者等を対象としたイベントを開催。招待会員数は500人を超えた。

9月：

- Agora お披露目会

10月：

- 愛知県・Station Ai / 起業家育成セミナー（YOU TRUST 登壇）
- Agora Bar「Agora Bar 始めました」

11月：

- Agora Bar「丸紅テルアビブ支店のテックエコシステムにおける取組と現状」（丸紅テルアビブ支店 登壇）

12月：

- 愛知県・Plug&Play / シンガポールエコシステム連携事業セミナー（パブリックビューイング）
- 愛知県・500Global / Corporate Innovation Program（日商エレクトロニクス 登壇）
- Agora Bar「製造業におけるオープンイノベーションの挑戦」（武蔵精密工業・伊作常務 登壇）

1月：

- スタートアップ ファイナンスセミナー第一回（名古屋銀行CVC、SMBC日興証券 登壇）
- Agora Bar「イノベーターが知っておくべき2024年キーポイント」（丸紅経済研究所 登壇）

2月：

- 500Global / Corporate Innovation Program（KDDI 登壇）
- Station Ai エフェクチュエーション ワークショップ（Scale Out 登壇）
- Station Ai 商社ピッチ

3月：

- 課題解決セミナー「人手不足にどう立ち向かう？」
- Agora Bar「FUJIが手掛けるオープンイノベーション」（FUJI 登壇）

Stage 1 人を集めて繋げる

05 Agora で実施したイベント①

9月15日 Agora お披露目会

当イベントをきっかけに、下記2案件が開始された

- 当地の有力企業と丸紅間のアップサイクル共創
- 今まで繋がりが無かった有力企業間（丸紅を含まない）での共創



参加人数：125名

主な参加者：

丸紅 大本CDIO（イノベーションに関わる講演）
自治体、大学、企業、スタートアップ支援者など、
東海地区のオープンイノベーションの主要メンバーが参加

10月18日 愛知県・Station Ai 起業家育成セミナー

外部イベント招致の初回となったこのイベントでは、想定以上の集客を実現。他のオープンイノベーション施設との差別化要因としてのAgoraの立地の良さ、今後の同様のイベントの開催可能性を認識。



登壇者： YOU TRUST 岩崎社長

参加人数：49名

06 Agora で実施したイベント②

11月21日

Agora Bar

「丸紅テルアビブ支店のテックエコシステムにおける取組と現状」

当地の有力企業に対し、丸紅テルアビブ支店よりイスラエルのスタートアップ企業を紹介する面談を2月以降に設定予定。



登壇者： 丸紅 テルアビブ支店 水谷支店長
参加人数： 60名

12月7日

愛知県・Plug&Play・500Global

企業向けイノベーションイベント

500Global主催のイベントの集客が従来比で倍増となり、Agoraの集客力を確認。



登壇者： 日商エレクトロニクス エンタープライズ事業本部 榎本副本部長
参加人数： 23名

08 Agora で実施したイベント④

12月21日

Agora Bar

「製造業におけるオープンイノベーションの挑戦」

参加した5社の担当者から、当社と武蔵精密の共催で行うオープンイノベーションプログラムへの参加意向が得られた。



登壇者： 武蔵精密工業 伊作常務CIO

参加人数： 63名

1月18日

グループ会社交流会

「長野県の日本酒」

長野県産の日本酒のセミナー、交流会を通じて、グループ各社の社員間の相互理解が深まってきた。



登壇者： 長野県庁 藤井営業戦略推進役（当社出向者）

参加人数： 29名

09 Agora で実施したイベント⑤

1月22日

Agora Bar

「イノベーターが知っておくべき2024年のポイント」

2024年度の国際政治イベント・情勢が経済に与える影響を鋭く解説。



登壇者： 丸紅経済研究所 榎本所長代理

参加人数： 51名

1月26日

SMBC日興証券・名古屋キャピタル・丸紅

スタートアップファイナンス講座

スタートアップを取り巻くファイナンス環境の変化と打ち手をレクチャー。



登壇者： 名古屋キャピタルパートナーズ 村上ディレクター

SMBC日興証券 名古屋コーポレート・ファイナンス本部 城本部長補佐

参加人数： 23名

10 Agora で実施したイベント⑥と会員の声

2月1日
愛知県・Plug&Play・500Global
企業向けイノベーションイベント

オープンイノベーションの先駆者として有名なKDDIの中馬氏が愛知県・500Globalのイベントに登壇、



登壇者： KDDI 事業創造本部 中馬副本部長
参加人数： 50名

2月6日
愛知県・Eiicon
企業向けマーケティング・PRセミナー

自組織のマーケティング・PR力を高めるポイントをプロの講師が説明。主に愛知県内の市が参加。



登壇者： ブランディングテクノロジー(株) 黒澤 友貴 執行役員／経営戦略室CMO
NEWSTA 鈴木碩子 代表取締役 CEO
参加人数： 36名

11 Agora で実施したイベント⑥と会員の声

2月15日
Agora Bar
トヨタアップサイクルプロジェクトの挑戦

トヨタ自動車における新規事業、アップサイクルプロジェクトへの取り組みを説明、活発な質疑応答が行われた。



登壇者： トヨタ 新事業開発室 中村主幹
参加人数： 66名

2月16-19日
Station Ai
エフェクチュエーション ワークショップ

企業家育成のため、優れた起業家に共通するエフェクチュエーションの行動原理を実際に参加者自身・チームで体験してみるワークショップ。



登壇者： Scale Out 飯野共同代表、山形共同代表、絹川ユニゾンリーダー
参加人数： 40名

12 Agora で実施したイベント⑥と会員の声

2月27日
Station Ai
商社ピッチ

7商社 28名がAgoraに集合し、スタートアップ5社がピッチ。
商社マンならではの、ビジネスモデルやプロダクツの競争優位性などに関する鋭い
質疑応答や、共創に向けた意見交換が行われた。



登壇者： スタートアップ5社
参加人数： 28名

<Agora会員の声>



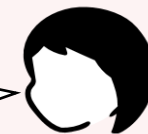
スタートアップ目線ではなく、実ビジネスを行っている企業目線のイノベーション拠点である事に期待している。

今まで接点のなかった企業との取組が始まった。



様々なイノベーション拠点・企業からコラボイベントの共催依頼が多数寄せられているのもわかる。

Agoraの利用条件が企業に務めていて、イノベーションに興味がある人に限定している点が良い。



Agoraと協業することで自社のみでオープンイノベーションイベントを開催する場合よりも多く集客ができた。

東海地区のオープンイノベーションの主要プレイヤーが集まっている。



Agoraの立地もよく、是非使いたい。

13 Agora 開設3カ月間の振り返り

① Agora会員

- ◆ 約540名、内、外部会員350名。
今まで丸紅と繋がりがなかった地元企業の新規事業担当（＝自社の課題を把握）の登録が増加中。
- ◆ 他の拠点と異なり、スタートアップ目線ではなく、**実ビジネスを行っている企業目線のイノベーション拠点である事への期待**が高まっている。



② イベント

- ◆ 会員交流イベントは50名近い参加があり、盛況。イベント参加を通じ新規会員も増加中。
- ◆ 他イノベーション拠点・企業からコラボイベントの共催について多数申し出あり。
- ◆ **オープンイノベーションに関連するイベント登壇が可能であれば是非ご協力頂きたい。**

③ Serendipity（予期せぬ偶然の幸運な出会い）にビジネスの種があり、その確度を上げる

- ◆ Agoraは異質なものの掛け合わせによるビジネス創出が目標。Agora会員間の紹介を行い、打合せも敢えてオープンスペースで実施、誰でも聞けるようにして、偶然を創り出している。
- ◆ また、地元企業の課題の抽出を行う事で、ビジネス創出の確度を上げていく。
 - 丸紅 x 地元有力企業A（Agoraイベント発）
 - 地元有力企業B x 地元有力企業C、地元有力企業B x 地元有力企業D（Agoraイベント発）
 - オランダのスタートアップ x 地元有力企業A（コワーキングでの偶然の出会いから）

14 Agora で開催予定のイベント・プログラム

来期はAgoraの活動の軸足を徐々に「企業の抱える課題のインサイトを共有・深掘りする」ステージに移し、オープンイノベーション創出への道筋を明確にする。

4月:

- Agora Bar #7 「インドでの協業とイノベーション創発に向けたマインドセット改革～インドと付き合う感覚を養う～」

5月:

- **Deloitteトーマツベンチャーサポート / 大企業 異業種間ワークショップ 第一回**
- Agora Bar #8 「米国のVenture Capitalの現状」
- 未来年表プロジェクト開始
- Agora Bar #9

6月:

- Agora Bar #10
- Innovator's Bus 開始（武蔵精密工業との共催）
- 十六銀行CVC「Nobunaga DX Pitch」

※2024年5月より、シリーズ開催のプログラムがスタート、現在は4月以降のプログラムを順次組成中。

共有・深掘り課題を明確化する
Stage 2

Stage 1 人を集めて繋げる

15 Agora の将来像

産業を有する中部地域の企業特性・課題を考慮し、
Agoraを通じた「中部地域ならではのイノベーション」を創出し続ける。

【中部地域の企業特性・課題】

新技術の
事業化が不得意

ノン・コア事業
の切り捨て

CASEへの
対応

新たな稼ぎ頭の
創出

労働者不足
による技術断絶

研究開発の
自前主義

海外連携

M&A

新規ビジネス創出のイメージ

- ◆ 企業課題の深堀とその課題へのソリューションの掛け合わせ（スタートアップ・異業種）
- ◆ 総合商社の国内外のネットワークを活かした最適ソリューションを提供
- ◆ 断絶する技術・事業の海外展開・活用
- ◆ 新技術の事業化共創
- ◆ 大企業のリソースを活用したスタートアップのスケールアップ

Stage 3
新規事業を創出する